

CASIO®

P

5146/5425P * JA

取扱説明書

5146/5425

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいます、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

- 本書に記載の製品イラストの中には、視認性を考慮して、実際のものとは異なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。

本機の特長

●アナログ&デジタル時計

アナログとデジタル時計で時刻を表します。
アナログ（針）はデジタル時計の時刻を自動的に指します。

●ストップウォッチ

1/1000 秒単位で 99 時間 59 分 59 秒 999（100 時間計）まで計測できます。

●タイマー

1 分単位で 24 時間までセットでき、1 秒単位で減算計測を行います。

●ワールドタイム


世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻および協定世界時（UTC）の時刻を表示させることができます。


●アラーム・時報


アラームは 5 本（通常アラーム 4 本／スヌーズアラーム 1 本）セットでき、任意の時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすことができます。

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバースウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。



注意

ご使用にあたって

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険です。交通事故の原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	1
液晶表示について	7
操作のしくみと表示の見方	8
ライト点灯について	10
ボタンを押して点灯させる.....	10
時計を傾けて点灯させる.....	10
ライト点灯時間の切替え.....	12
ストップウォッチの使い方	13
距離設定のしかた.....	14
スピード表示のみかた.....	14
計測のしかた.....	15
タイマーの使い方	19
タイマー方法について.....	19
電子音の報音について.....	19
タイマーのセット.....	19
タイマーの使い方（減算計測のしかた）.....	20
ワールドタイムの使い方	21
都市のサーチ.....	21
日付を確認する.....	21
サマータイム（DST）について.....	22
サマータイムの設定.....	22
ワールドタイム都市とホーム都市の入替え.....	22
都市コード一覧.....	23

アラーム・時報の使い方	24
アラームについて.....	24
アラーム時刻のセット.....	24
アラームの ON / OFF 設定.....	25
鳴っている電子音を止めるには.....	26
時報について.....	26
時報の ON / OFF 設定.....	26
時計・日付の合わせ方	27
デジタル部時刻・日付の合わせ方 （ホーム都市の設定）.....	27
アナログ部（針）の基準位置の合わせ方	30

製品仕様.....	32
ご使用上の注意.....	38
お手入れについて.....	41
電池交換について.....	42
金属バンドの駒詰めについて.....	42

液晶表示について

機種によって液晶表示のタイプが異なりますが、本書は、モジュール5146< Aタイプ>の液晶表示で説明しております。Bタイプ（反転液晶）をお使いの方は、Aタイプで黒く点灯するところが白くになると置き換えてご覧ください。

- モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています。
- 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

	モジュール5146	モジュール5425
Aタイプ	グラフィック(秒に連動) モジュール5146のみ 	
Bタイプ	グラフィック(秒に連動) モジュール5146のみ 	

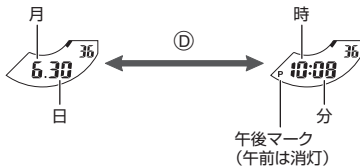
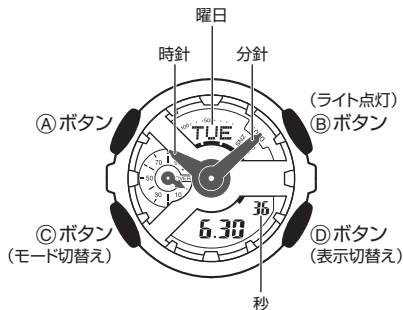
操作のしくみと表示の見方 (本書の表示例では、アナログ部(針)を省略する)場合があります。

③ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード

★表示切替えについて

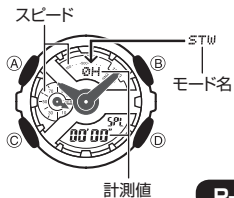
④ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。



★曜日の見方

SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水
THU:木 FRI:金 SAT:土

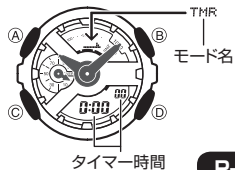
ストップウォッチモード



P-13

③

タイマーモード

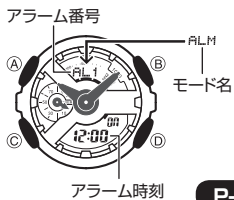


P-19



③

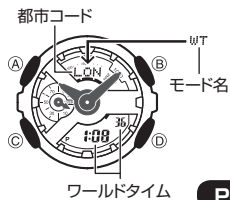
アラームモード



P-24

③

ワールドタイムモード



P-21

③

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、**⑥** ボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも表示を確認することができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる

～手動点灯～

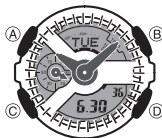
「セット中（表示点滅）」以外のどのモードのときでも

⑥ ボタンを押します

→ **⑥** ボタンを押すとライトが点灯します。

※ 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます（12 ページ参照）。

※ オートライト OFF のときも **⑥** ボタンを押すと点灯します。



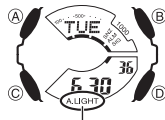
本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて点灯させる

～オートライト機能～

どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約 1.5 秒間または約 3 秒間点灯します。

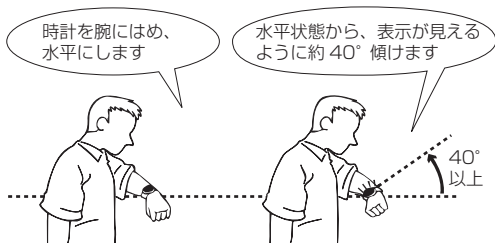
準備：時刻モードのとき、**⑥** ボタンを約 3 秒間押し続けて、オートライト ON（オートライト ON マーク点灯）にします。



オートライト ON マーク

※ オートライト ON のとき、時刻モードで **⑥** ボタンを約 3 秒間押し続けるとオートライト OFF（オートライト ON マーク消灯）に戻ります。

● ライトを点灯させる



※ オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。

※ 文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



＜ご注意＞

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

＜オートライトご使用時の注意＞

- オートライトが作動するのは、オートライト ON してから約 6 時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライト OFF になります。
※ 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度時刻モードで **ⓑ** ボタンを約 3 秒間押し続けてオートライト ON マークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約 1.5 秒間または約 3 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕をあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ず OFF** にしておいてください。
※ 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

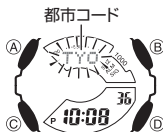
■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

**Ⓐ ボタンを約3秒間押し
続けます**

⇒「都市コード」が点滅します。

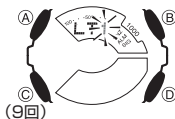


2. ライト点灯時間切替えにする

**Ⓒ ボタンを9回押しま
す**

⇒Ⓒ ボタンを押すごとに点
滅箇所が移動します。

* 点滅箇所の移動につい
ては28ページ参照



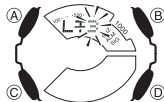
3. 点灯時間を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

⇒Ⓓ ボタンを押すごとに約
1.5秒間と約3秒間が切り
替わります。

※ LT1 = 約1.5秒間

※ LT3 = 約3秒間



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自
動的にセット状態から時刻モードに戻ります。

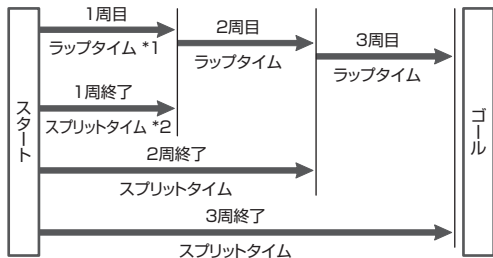
ストップウォッチの使い方

本機のストップウォッチは、「ラップタイム」、「スプリットタイム」を計測し、速度を表示します。

- 1/1000 秒単位で 99 時間 59 分 59 秒 999 (100 時間計) まで計測できます。

※ 計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

※ 速度を計算するため、あらかじめ距離を設定してからお使いください。距離が 0.0 のときは常に速度 0 を表示します。



8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

*1 ラップタイムとは、任意の区間（例えば、周回競技の 1 周）に要する時間を指します。

*2 スプリットタイムとは、スタートから任意の地点（例えば、周回競技の 2 周目終了地点）までに要する時間を指します。

●表示切替え

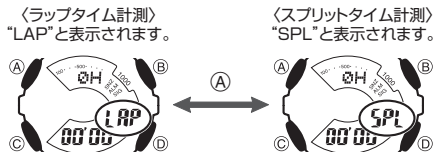
ラップタイム計測かスプリットタイム計測かによって、表示される内容と操作が異なります。

※ 計測開始後に切り替えることはできません。計測を始める前に切り替えてください。

ストップウォッチモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 下記のように、表示が切り替わります。



■ 距離設定のしかた

ストップウォッチモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約 3 秒間押し続けます

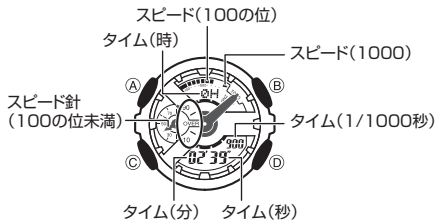
⇒ 下記のように表示が切り替わります。

- ③ ボタンを押すと設定できる桁が選べます。
- ④ ボタンを押すと数字が進み、② ボタンを押すと戻ります。
- 設定できる範囲は 0.1 から 99.9 までです。なお距離の単位は特定しません。
- 設定が済んだら ① ボタンを押してストップウォッチモード（計測リセット状態）に戻ります。



■ スピード表示のみかた

ストップウォッチモードのとき、タイムを計測するたびに設定済みの距離を計測タイムで割った値がスピードとして表示されます。



- 100 の位は上部のスピード（100 の位）のグラフに表示されます。
- 1000 を超えると 1000 のグラフ「▲」が点灯します。
- 100 の位未满是スピード針で表示されます。表示されるのは偶数です。
例：スピードが 1740 のとき
1000 のグラフ「▲」が点灯します。
上部のスピード（100 の位）のグラフが 700 を示します。
スピード針が 40 を指します。
- スピードは 0 から 1998 まで表示できます。1998 を超えると、スピード針が「OVER」を指します。

※ 距離 0.0 を設定すると、スピードはいつも 0 を指します。このとき、スピード針は一周して 0 位置に戻ります。

【ご注意】

スピード針が動いているときはボタンを操作できません。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき

① ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

※ 同じスピードのときやスピードが 0 のときは、スピード針が一周します。



【ご注意】

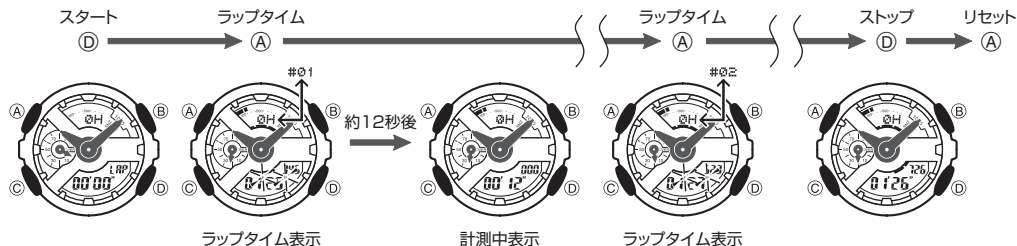
ボタンはスピード針が止まってから操作してください。

★計測終了後 (A) ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

※ ストップウォッチ計測中にストップウォッチモードを出した場合、「スピード (100 の位)」のグラフが現在の時刻の秒に連動して点灯します。

●ラップタイム計測

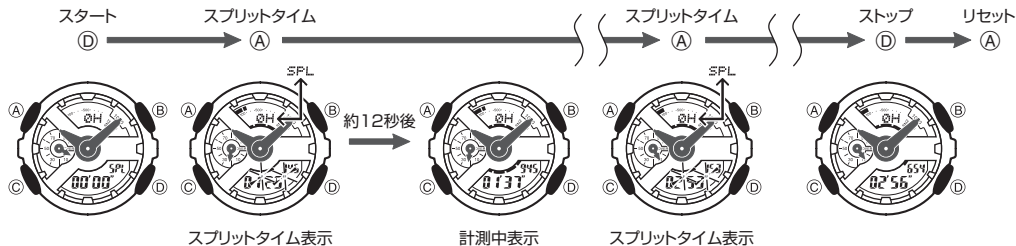
〈ラップタイム計測表示〉



- 計測を始める前に“LAP”と表示されていることをご確認ください。
※ “SPL”と表示されている場合は、(A) ボタンを押し、“LAP”に切り替えてお使いください。
- (D) ボタンを押すと計測を開始します。
- 計測中に (A) ボタンを押すとラップタイムが表示されます。内部では次のラップタイムの計測が始まっています。
- 約 12 秒後、計測中の表示に自動的に戻ります。ラップタイム表示中に再び (A) ボタンを押すと、最新のラップタイムが表示されます。
- (D) ボタンを押すとラップタイム計測はストップします。ストップ中に (A) ボタンを押すとリセットできます。
- 周回数はタイム (時) の位置に交互に表示されます。
#01 から #99 まで順に表示されます。
#99 の次は #00 が表示され、その後 #01 に戻って計測を繰り返します。

● スプリットタイム計測

〈スプリットタイム計測表示〉



- 計測を始める前に“SPL”と表示されていることをご確認ください。
※“LAP”と表示されている場合は、**①** ボタンを押し、“SPL”に切り替えてお使いください。
- ①** ボタンを押すと計測を開始します。
- 計測中に **②** ボタンを押すとスプリットタイムが表示されます (“SPL”とタイム(時)が交互に表示されます)。内部では計測が続いています。
- スプリットタイム表示中に再び **②** ボタンを押すと計測表示に戻ります。あるいは約12秒後に計測中の表示に自動的に戻ります。
- ④** ボタンを押すとスプリットタイム計測はストップします。ストップ中に **②** ボタンを押すとリセットできます。

タイマーの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で 24 時間までセットすることができます。1 秒単位で減算計測を行います。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

- タイマー方法の選び方については右記参照

● リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するとき便利です。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行います。

■ 電子音の報音について

セットした時間を経過すると 10 秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

- ※ 電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

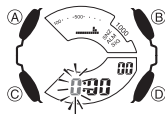
■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモード（リセット状態）のとき

◎ ボタンを約 3 秒間押し
続けます

⇒ 「時」 が点滅します。



タイマー時間(時)

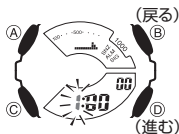
2. タイマー時間をセットする

◎ または ◎ ボタンを押
します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに 1
ずつ進み、◎ ボタンを押
すごとに戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも、押
し続けると早送りします。

※ タイマー時間は 1 分 (0:01) ~ 24 時間 (0:00)
までセットできます。

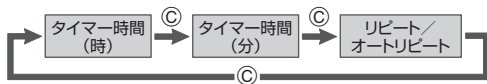


3. セット項目を選ぶ

◎ ボタンを押します



⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできます。



4. タイマー方法を選ぶ

◎ ボタンを押してから、
◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとにリピートタイマー「」とオートリピートタイマー「」が切り替わります。



5. セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

■ タイマーの使い方 (減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※ 計測は1秒単位です。



★ 計測ストップ後 (A) ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。

★ (D) ボタンを押すと一時的に計測を止めることができます。再び (D) ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を再開します。

ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻および協定世界時（UTC）の時刻を簡単に知ることができます。

- ※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
- ※ 時刻モードであらかじめホーム都市と時刻をセットしておく、都市コード一覧の時差にしたがい他の都市の時刻が自動的に調整されます。
- ※ ワールドタイムの「秒」は時刻モードの「秒」に連動しています。
- ※ 時刻モードで 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

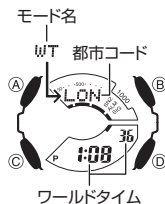
■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

◎ ボタンを押します

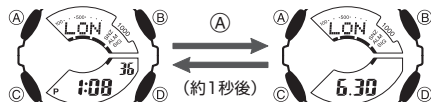
→ ◎ ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、その都市の時刻を表示します。

※ 押し続けると早送りします。



■ 日付を確認する

ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押すと日付を表示し、約 1 秒後に時刻表示に戻ります。



■ サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なり、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの設定

1. ワールドタイムモードのとき、**④** ボタンを押してサマータイムを設定したい都市コードを選びます。

2. **①** ボタンを約 3 秒間押し続けます

→ DST ON マークが点灯して、サマータイム設定*になります。

* サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より 1 時間進みます。

※ DST ON マークが点灯しているときに、**①** ボタンを約 3 秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。

① ボタンを押した直後に DST ON マークが消えて再び現れますが、必ず約 3 秒間押し続けてください。

※ 都市ごとにサマータイムの設定ができます。

※ "UTC" 表示のときは、サマータイム設定はできません。



■ ワールドタイム都市とホーム都市の入替え

ワールドタイムモードのとき、**①** ボタンと **②** ボタンを同時に押しするとワールドタイム都市とホーム都市が入れ替わります。入れ替えることにより事前を選択していたワールドタイム都市をホーム都市として利用できます。また、事前を選択していたホーム都市はワールドタイムモードで確認できるようになります。

■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴパゴ
HNL	-10	ホノルル
ANC	-9	アンカレジ
YVR	-8	バンクーバー
LAX		ロサンゼルス
YEA	-7	エドモントン
DEN		デンバー
MEX	-6	メキシコシティ
CHI		シカゴ
MIA	-5	マイアミ
YTO		トロント
NYC		ニューヨーク
SCL	-4	サンティアゴ
YHZ		ハリファックス
YYT	-3.5	セントジョンズ
RIO	-3	リオデジャネイロ
RAI	-1	ブライア
UTC	0	<協定世界時>
LIS		リスボン
LON		ロンドン
MAD	+1	マドリード
PAR		パリ
ROM		ローマ
BER		ベルリン
STO		ストックホルム

コード	時差	都市名
ATH	+2	アテネ
CAI		カイロ
JRS	+3	エルサレム
MOW		モスクワ
JED		ジェッダ
THR	+3.5	テヘラン
DXB	+4	ドバイ
KBL	+4.5	カブール
KHI	+5	カラチ
DEL	+5.5	デリー
DAC	+6	ダッカ
RGN	+6.5	ヤンゴン
BKK	+7	バンコク
SIN	+8	シンガポール
HKG		香港
BJS		北京
TPE	+9	台北
SEL		ソウル
TYO	+9.5	東京
ADL		アデレード
GUM		グアム
SYD	+10	シドニー
NOU	+11	ヌーメア
WLG	+12	ウェリントン

※ この表は 2013 年 12 月現在作成のものです。

※ この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

※ 各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

アラーム・時報の使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1 ~ AL4)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。アラーム音を途中で止めても 7 回の繰り返しが終わるまでは再び鳴り出します。

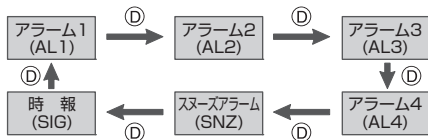
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに表示が右記の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



2. セット状態にする

◎ ボタンを約 3 秒間押し続けます

→ 「時」が点滅します。

※ 一時的に「OFF」と表示されることがありますが、必ず約 3 秒間押し続けてください。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。



3. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

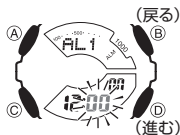


4. 点滅箇所のセット

◎ または ◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに 1 ずつ進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。



5. セットを終わる

◎ ボタンを押します

→◎ 点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

■ アラームの ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、◎ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに、アラームの ON / OFF が切り替わります。

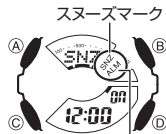
※ アラームが ON に設定されるとアラームマークが点灯します。スヌーズアラームが ON に設定されるとアラームマークとスヌーズマークの両方が点灯します。

〈アラーム表示〉



アラームマーク

〈スヌーズアラーム表示〉



アラームマーク

手順 3.～4. の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※ 「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※ 時刻モードを 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※ スヌーズアラームのときは、7回の繰り返しが終わるまで約5分後に再び鳴り出します（繰り返しが済んでいないときはスヌーズマークが点滅します）。

※ スヌーズアラームの繰り返しが済んでいないときに以下の操作を行うと、スヌーズアラーム機能が中断されます。

- スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき
- スヌーズアラームをセット状態にしたとき
- 時刻モードでセット状態にしたとき
- ワールドタイムモードでホーム都市の DST 設定を変更したとき
- ワールドタイムモードでホーム都市を変更したとき

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

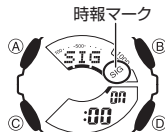
■ 時報の ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**①** ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。

① ボタンを押します

⇒ **①** ボタンを押すごとに、時報の ON / OFF が切り替わります。

※ 時報が ON に設定されると時報マークが点灯します。



時計・日付の合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

電池交換後などで、時刻や日付が合っていないときは、以下の方法でセットします。

※ アナログ部（針）は自動的にデジタルの時刻を指す構造になっています。デジタルの時刻と合わないときは、基準位置を調整してください（30 ページ参照）。

■ デジタル部時刻・日付の合わせ方 （ホーム都市の設定）

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約3秒間押し続けます

⇒「ホーム都市」が点滅します。



2. ホーム都市を選ぶ

Ⓓ または **Ⓔ** ボタンを押します

⇒ **Ⓓ** ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、**Ⓔ** ボタンを押すごとに戻ります。

* 23 ページ「都市コード一覧」参照

※ **Ⓓ**・**Ⓔ** ボタンとも、押し続けると早送りします。



3. サマータイム (DST) の ON / OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、**Ⓓ** ボタンを押します

⇒ **Ⓓ** ボタンを押すごとに ON / OFF が切り替わります。

※ OFF = サマータイム OFF (通常時間)

On = サマータイム ON (夏時間)

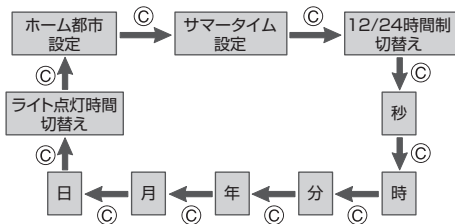
* サマータイム (DST) については 22 ページ参照



4. 12/24 時間制表示、時刻・日付を修正する

◎ ボタンを押して、セットしたい箇所を点滅させます

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。



a. 12/24 時間制表示を切り替える

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 “12H” と 24 時間制表示 “24H” とが切り替わります。

b. 秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて ◎ ボタンを押します

⇒「00 秒」からスタートします。

※ 秒が 30～59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。



00秒になる

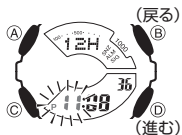
c. 時・分・年・月・日を修正する

セットしたい箇所が点滅しているとき、

④ または ③ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに1ずつ進み、③ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ④・③ ボタンとも、押し続けると早送りします。



※ 「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※ 「年」は 2000 年～ 2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

※ ライト点灯時間の切替えについては 12 ページ参照

5. セットを終わる

① ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態から時刻モードに戻ります。

アナログ部（針）の基準位置の合わせ方

アナログ部（針）は自動的にデジタル部の時刻を指すように設計されています。デジタル部の時刻と合わないときは針の基準位置がずれていますので調整してください。スピード針の基準位置もこの操作で調整してください。

※ 針が止まってからボタン操作を始めてください。

準備：時刻モードで、以下の操作を行ってください。

1. セット状態にする

① ボタンを約3秒間押し続けます

→ セット状態になると下部で“Sub”が点滅し、スピード針が50unit/h（9時位置）を指します。



2. スピード針が50unit/h（9時位置）に合っていない場合には基準位置を合わせる

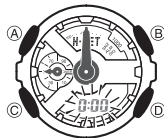
② ボタンを押します

→ ② ボタンを押すごとにスピード針が時計回りに一目盛ずつ進みますので、50unit/h（9時位置）に合わせてください（スピード針は逆向きには回りません）。

3. 時分針の基準位置を合わせる

③ ボタンを押します

→ ③ ボタンを押すと下部で“0:00”が点滅し、時針と分針が12時位置に移動します。12時位置に揃っていないときは④ ボタンと⑤ ボタンを押して合わせてください。



※ ボタン操作により分針が動きます。時針は分針に連動して動きます。

※ 時計回りに回して針合わせを終わらせると、より正しく合わせることができます。

<針の自動早送り>

- ④ ボタンを押し続けると早く進み（時計回り）、手を離しても進み続けます。
- ⑤ ボタンを押し続けると早く戻り（反時計回り）、手を離しても戻り続けます。
- 自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

- ⇒時分針はデジタル部の時刻を指す位置に移動します。
スピード針は 0 unit/h を指す位置に移動します。
- ※ セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作しないと、自動的にセット状態から時刻モードに戻ります。

製品仕様

- 精度：平均月差± 15 秒
- 基本機能：アナログ部
時・分 (20 秒ごとに針が動く) 2 針
デジタル部
時・分・秒、午前/午後 (P) /
24 時間制表示、月日・曜日
フルオートカレンダー
(2000 ~ 2099 年)
- ワールドタイム機能：世界 29 タイムゾーン (48 都市) の時刻、
協定世界時 (UTC) の時刻を表示、
サマータイム設定機能、ホーム都市設定機
能
- タイマー機能：セット単位 1 分
計測単位 1 秒
計測範囲 24 時間
リピートタイマー/オートリピートタイ
マー切替え
- ストップウォッチ機能：計測単位 1/1000 秒
計測範囲 99 時間 59 分 59 秒 999
(100 時間計)
計測精度 ± 0.0006%
計測機能 通常計測、積算計測、
スプリット計測、ラップ計測
スピード表示 0 ~ 1998unit/h
- アラーム機能：時刻アラーム
セット単位 時・分
電子音 10 秒間
通常アラーム 4 本
スヌーズアラーム 1 本
時報
毎正時に電子音で報知

- その他：自動復帰機能、サマータイム設定機能、
12/24 時間制表示切替え、LED ライト、
オートライト、ライト点灯時間切替え
- 使用電池：CR1220 1 個 (電池別途販売)
- 電池寿命：約 2 年
(電子音 10 秒間/日、ライト 1.5 秒間/日
使用した場合)
※ライトを頻繁に使用すると、電池の持
続時間が短くなります。

memo



memo



memo

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水 「BAR」表記無し	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
		5BAR	10BAR	20BAR	
使用例	洗顔、雨	○	○	○	
	水仕事、水泳	×	○	○	
	ウインドサーフィン	×	×	○	
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の高い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
 - 防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうすやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをするとともに、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態での水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のビンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や + 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- （JIS 1種耐磁時計）日常生活において、磁界を発生する機器に5cmまで近づけても性能を維持できる水準となっていますが、強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する機器に密着、あるいは近づけることはお避けください。針を動かすモーターへ影響を与えることにより針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因になります。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ととき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押ししたりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしていたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただいております。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

